

# 第11回 ふくまる夢たまごセミナー 閉塾式



日時 2月17日(金) 18:00~20:00

場所 池田市庁舎 7階大会議室

内容 記念講演 「子どもの『今』を見つめる」  
～これからの先生に期待すること～

講師 明石 一朗 氏 (関西外国語大学 教授)

2月17日、いよいよ「ふくまる夢たまごセミナー」の最終日として、閉塾式と記念講演の日を迎えました。閉塾式では、ふくまる塾長が、塾生の皆さんを外向かえ、田渕教育長からは、1年間のねぎらいと励ましの言葉をいただきました。



《田渕教育長より》

現在、70名を超える「ふくまる教志塾」出身の皆さんが、池田市の小・中・義務教育学校で教員として活躍してくれています。12期生の皆さんも、ぜひ、池田で先生になってみようという気持ちを膨らませ、池田市で活躍されることを心から願っています。これからも頑張ってください。



次に、記念講演として、関西外国語大学教授の明石一朗先生よりユーモアをまじえながら、「教育は人なり!」「学校は『楽校』である」「教師に求められる力」などのテーマを、すべて3つに要約して具体的にお話しいただきました。

《明石先生より》

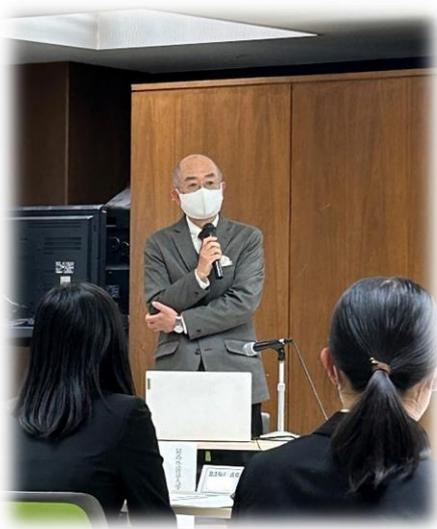
「教育は人なり」

教師は信頼関係が大事、医師との共通点は、  
①命を預かり、②信頼を築き、③良くなると  
確信すること。

「学校は『楽校』である」

子どもは、わかるということが喜びである。

- ①わかる授業＝学力向上（知育）
- ②友だちとつながる＝学級集団（徳育）
- ③ぐっすり・しっかり・すっきり＝健康な生活  
睡眠・食事・排便（体育）



「教師に求められる3つの力」

- ① 授業力
- ② 子ども理解力
- ③ 保護者等の対応力



1年間のふくまる教志塾の締めくくりにふさわしいお話に塾生一同、  
改めて教師という仕事の素晴らしさと責任の重さを実感したようです。

＜塾生の感想から＞

○ 今日の話を楽しく聞き続けることができたのは明石先生の力（話術）  
だと思いました。授業を面白くするのも分かりやすくするのも全て先生  
次第だと思いました。

○ 「授業を公開する際に何度も恥をかくことで成長できる」と、先輩から  
助言をいただいたと明石先生が言われたことで、恥をかけるうちにたくさ  
んかこうと思えて、心が軽くなりました。



○ 今日特に心に残ったお話は、子ども理解  
の難しさです。学校で見ている姿だけでその  
子を勝手に判断してしまったり、自分の思考  
の偏りで子どもの行動を捉えてしまったりし  
がちですが、見えない部分の姿や行動の裏に  
ある理由に耳を傾け、寄り添いたいです。